

12/10 五

杉田政務官の罷免・議員辞職を

アイヌ研究者ら要請書送付

アイヌの人たちと研究者や市民らがつくる

「アイヌ政策検討市民会議」は8日、杉田水

脈総務政務官のアイヌ民族や在日韓国人、性的少數者（LGBTQ）へのヘイトスピーチに断固抗議し、更迭

を求めて、鹿田文雄相の「要請書」を送付しました。北海道上で記

者発表しました。

「市民会議」は2016年に、日本のアイヌ政策の問題点を市民

社会で共有し、アイヌの自決権に基づいて転換するため日本政府

や国連の人権監視機関に掲示する目的を明確に設立されました。

（以下）

教授）は、杉田氏の発言や行動がヘイトスピーチ解消法やアイヌ政策推進法に反していると批判。「マイノリティ

の木村二三夫代表は「世界的にも人権が問

い」を攻撃する杉田政務官と、容認し続ける

政府のあるまじは看過する。アイヌ政策を担当する杉田氏が「アイヌ政策推進法」の見直しに關わる以上を懸念して、「要請書」を提出してしまった」と述べ、杉

田氏の罷免と議員辞職を強く求めました。

札幌アイヌ協会の阿部一司会長は、「杉田

田氏の罷免と議員辞職を強く求めました。
札幌アイヌ協会の阿部一司会長は、「杉田

田氏がブログでもうした女

性が、私の妹姉だ」と
れ続ける深刻な事態にして離はせぬ社会の実

告発。子や孫が差別され
心を痛めており、「安心・暖を」と訴えました。



記者会見する（左から）
ジエフ・ゲーマン代
表（北海道大学大学院）
木村二三夫、阿部一司会長、札幌市